



2026年4月14日

各位

会社名 株式会社パシフィックネット  
代表者名 代表取締役社長 上田 雄太  
(コード番号 3021 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役 杉 研也  
(電話番号 03-5730-1442)

## 業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2026年1月14日に公表した2026年5月期（2025年6月1日～2026年5月31日）の業績予想を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせします。なお、本件は適時開示基準には該当していませんが、有用な情報と判断して任意開示を行うものです。

### 記

(1) 2026年5月期 通期連結業績予想数値の修正（2025年6月1日～2026年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	10,000	1,100	1,000	677	128.83
今回修正予想 (B)	10,300	1,350	1,250	846	160.98
増減額 (B-A)	300	250	250	169	—
増減率 (%)	3.0	22.7	25.0	25.0	—
(ご参考) 前期実績 (2025年5月期)	8,099	842	774	529	100.80

(2) 修正の理由

2026年5月期第3四半期連結累計期間の業績は、全セグメントで好調に推移しました。将来の成長に向けて人材・資産等への先行投資を継続したものの、各事業の伸長によりこれを十分に吸収し、収益性は一段と向上しました。

ITサブスクリプション事業では、企業におけるIT機器運用負荷の軽減ニーズの高まりを背景に、市場機会を着実に捉えることで受注が拡大、ストック収益は安定成長しております。

ITAD事業では、OS更新需要を背景に使用済みIT機器の入荷台数が増加したことに加え、新品パソコンの価格の高騰に伴い中古価格も上昇しました。さらに、再販価値の高い使用済みPCの確保に努めたことで、収益性が大きく向上しました。

これらの結果、通期連結業績が前回公表予想を上回ることから、業績予想を上方修正いたします。中長期的な成長に向け、人的資本、インフラ、サブスクリプション資産、DX、マーケティング等への先行投資を引き続き実施してまいります。加えて、第4四半期には、従業員への還元および人材の確保・定着を目的として、特別賞与の支給を予定しておりますが、足元の

売上高および各利益の進捗を踏まえ、これらの影響は十分に吸収可能であると見込んでおります。

(注) 上記の予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上